

---

---

# 景 気 動 向 調 査 結 果

— 平成29年第I四半期（1月～3月期）分 —

---

---

平成29年5月

高山市商工観光部商工課

## 調査の概要

- 1 調査方法 調査対象を事業所統計調査のデータより無作為抽出（層化抽出）し、郵送の方法によるアンケート調査
- 2 調査対象 市内の企業 500社
- 3 調査時期 平成29年 4月下旬
- 4 回収状況 配布数 500社  
有効回収数 150社 (有効回収率 30.0%)

### ※ 業種別回収状況

建設・土木業	28社	(33.3%)
製造業	27社	(29.0%)
卸売・小売業	31社	(30.4%)
飲食業	17社	(21.5%)
旅館業	24社	(30.4%)
その他	23社	(36.5%)

---

計 150社 (30.0%)

※・農林水産業は、調査していない。

・その他の業種は、「サービス（旅館業除く）・運輸通信・金融保険・不動産業」をいう。

### 【参 考】

D I (Diffusion Index) 値

D I とは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各項目ごとの「増加（上昇・好転・長期化）企業割合」と「減少（低下化・短期化）企業割合」の差を示すものです。  
「上昇（増加など）の割合 － 下降（減少など）の割合」

## ・はじめに

平成29年4月に実施しました、景気動向調査（平成29年1月～3月期）の結果について、とりまとめましたのでご報告いたします。

## ・概 況

### ・販売（売上）の動向

前年同期比の産業全体の販売高DI値は▲17.5となり、前回（▲18.1）より0.6ポイント増加した。

前期比のDI値は▲28.4で、前回（▲8.9）より19.5ポイント減少した。

### ・景気の動向

今期の景気動向について、前期比のDI値は▲23.6となり、前回（▲16.6）より7.0ポイント減少した。

また、来期見込のDI値については、今期より16.2ポイント増加し、▲7.4となっている。

### ・雇用の状況

今期の雇用している人員が「過剰」と回答した事業所の割合は5.5%で、前回（10.1%）より4.6ポイント減少し、「不足」と回答した事業所の割合は38.4%で、前回（32.4%）より6.0ポイント増加した。

来期について「過剰」と回答した事業所の割合は4.8%で、今期と比較して0.7ポイント減少している。「不足」と回答した事業所の割合は37.7%で、今期と比較して0.7ポイント減少している。

有効求人倍率については、3月期で1.39となっており、前回調査12月期（1.32）より0.07ポイント増加している。

### ・設備投資

今期「設備投資をした」と回答した事業所の割合は31.3%で、前回（28.3%）より3.0ポイント増加した。また、向こう1年間の計画については、「設備投資を計画している」と回答した事業所の割合が28.4%で、今期の設備投資実績より減少傾向にあるが、前回調査（27.1%）より1.3ポイント増加している。

# 1. 販売（売上）の状況

前年同期比の販売高D I 値は微増、前期比の販売高D I 値は減少

## 1-1 前年同期比

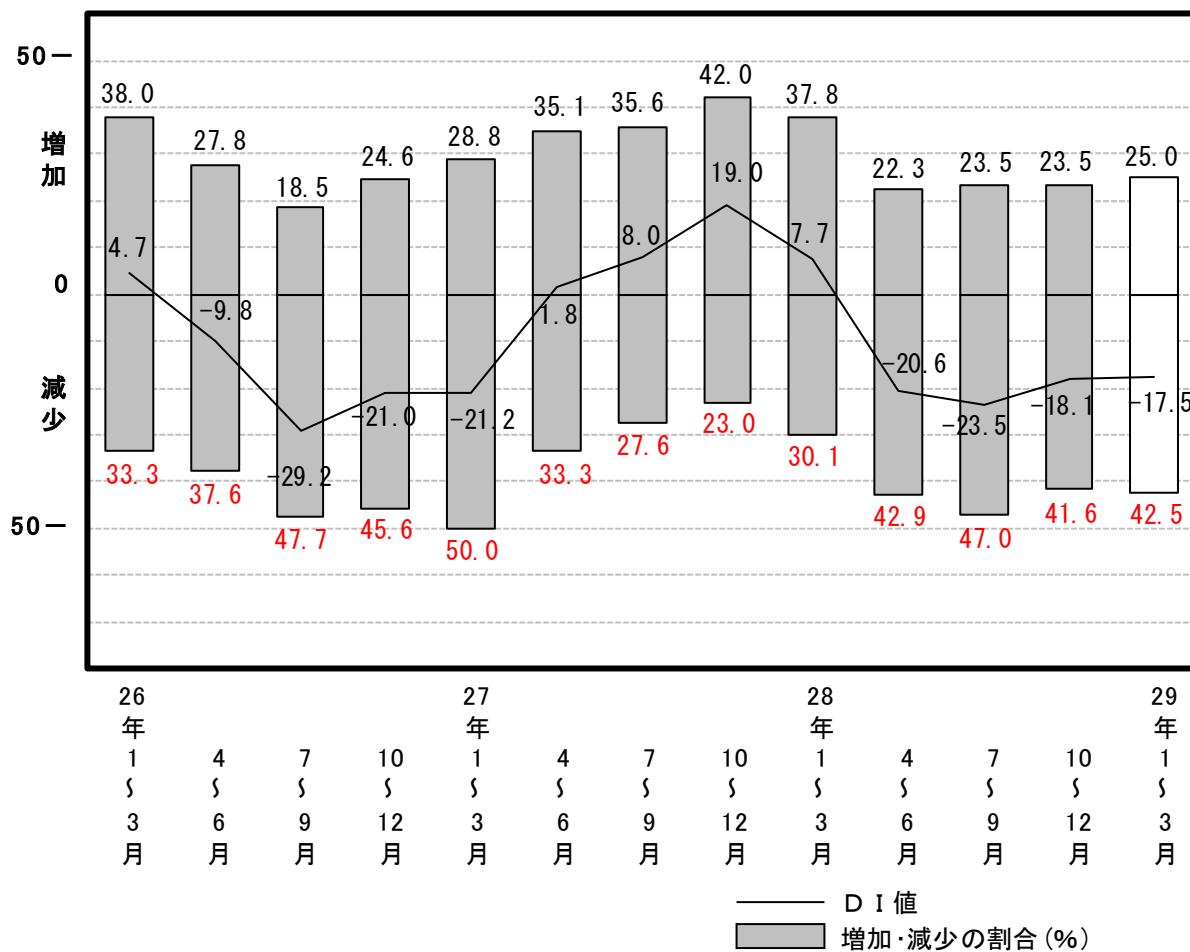
販売高が前年同期と比較して、「増加した」と回答した事業所の割合は25.0%で前回(23.5%)より1.5ポイント増加し、「減少した」と回答した事業所の割合は42.5%で前回(41.6%)より0.9ポイント増加した。その結果、今期の販売高D I 値は▲17.5となり、前回(▲18.1)より0.6ポイント増加した。

(第1図 参照)

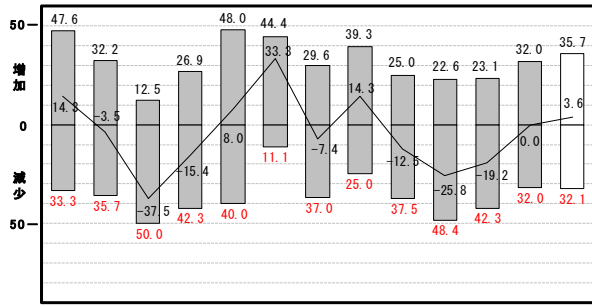
業種別のD I 値を分析すると、「建設・土木業」「製造業」「飲食業」「旅館業」の業種においては前回調査よりも増加しており、それ以外の業種においては、いずれも減少している。

(参考図 販売高D I 値の推移(各業種 前年同期比) 参照)

第1図 販売高D I 値の推移(前年同期比)



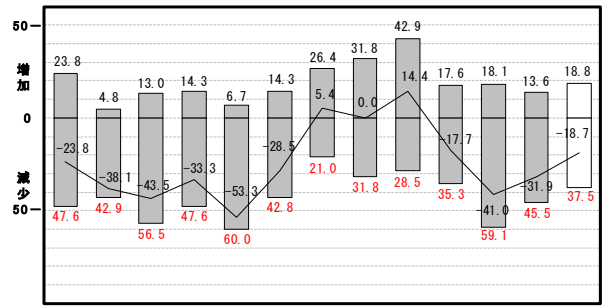
参考図 販売高D I 値の推移（建設・土木業 前年同期比）



年	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1
26	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1
27	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
28	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3
29	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月

D I 値  
増加・減少の割合 (%)

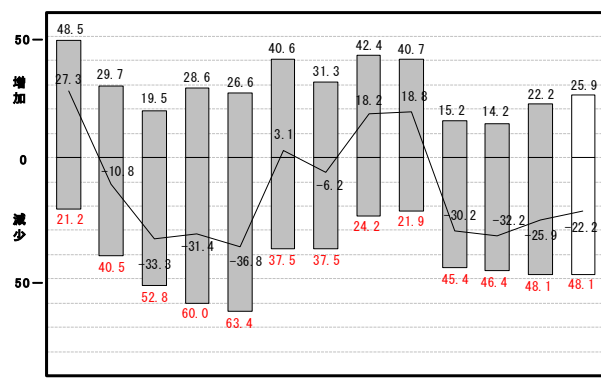
参考図 販売高D I 値の推移（飲食業 前年同期比）



年	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1
26	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1
27	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
28	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3
29	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月

D I 値  
増加・減少の割合 (%)

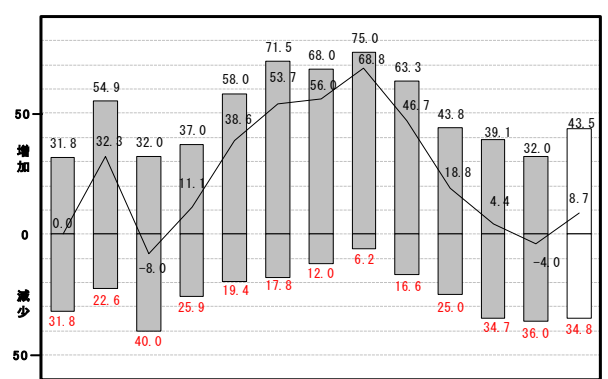
参考図 販売高D I 値の推移（製造業 前年同期比）



年	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1
26	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1
27	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
28	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3
29	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月

D I 値  
増加・減少の割合 (%)

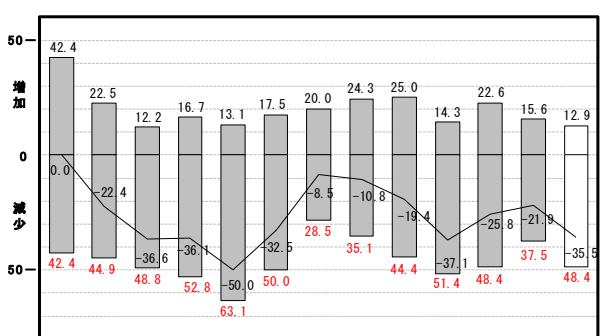
参考図 販売高D I 値の推移（旅館業 前年同期比）



年	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1
26	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1
27	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
28	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3
29	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月

D I 値  
増加・減少の割合 (%)

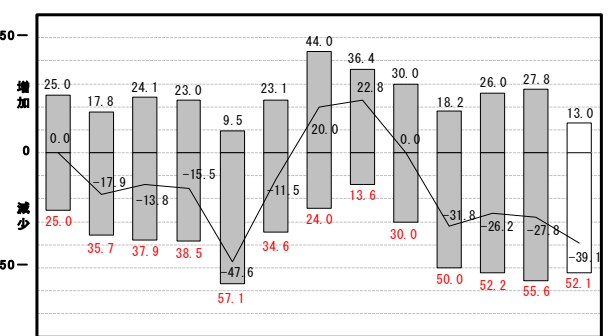
参考図 販売高D I 値の推移（卸売・小売業 前年同期比）



年	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1
26	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1
27	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
28	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3
29	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月

D I 値  
増加・減少の割合 (%)

参考図 販売高D I 値の推移（その他 前年同期比）



年	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1
26	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1
27	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
28	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3
29	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月

D I 値  
増加・減少の割合 (%)

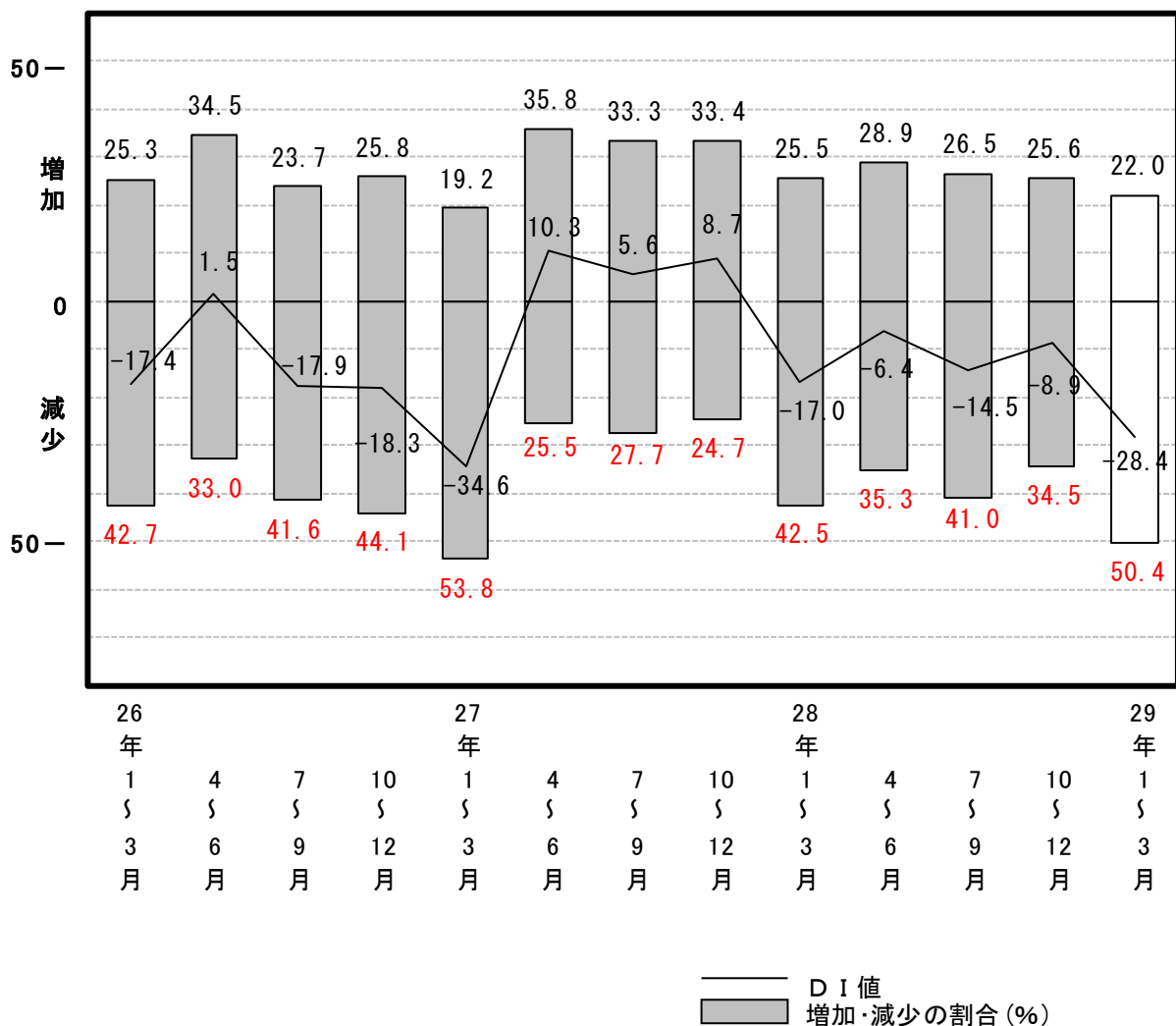
## 1-2 前期比

販売高が前期と比較して、「増加した」と回答した事業所の割合は22.0%で前回(25.6%)より3.6ポイント減少し、「減少した」と回答した事業所の割合は50.4%で前回(34.5%)より15.9ポイント増加した。その結果、今期のD I値は▲28.4となり、前回(▲8.9)より19.5ポイント減少した。(第2図 参照)

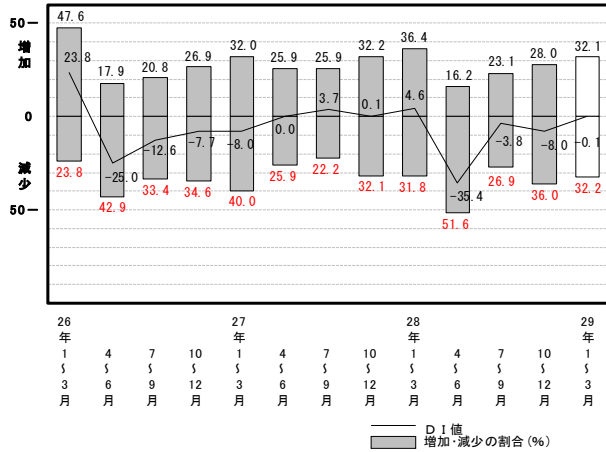
業種別のD I値を分析すると、「建設・土木業」「旅館業」の業種においては前回調査より増加しているが、それ以外の業種においてはいずれも減少している。

(参考図 販売高D I値の推移(各業種 前期比) 参照)

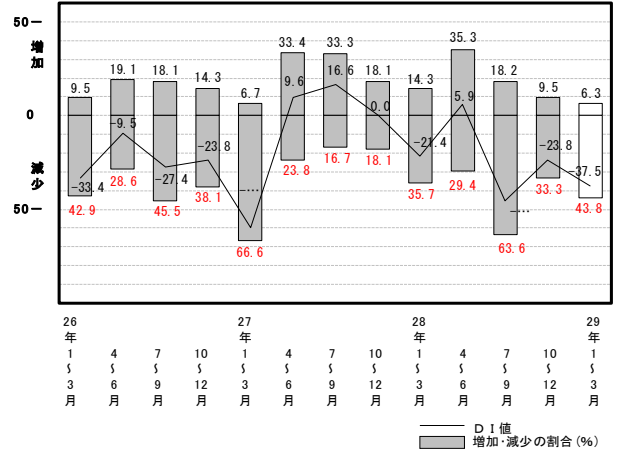
第2図 販売高D I値の推移(前期比)



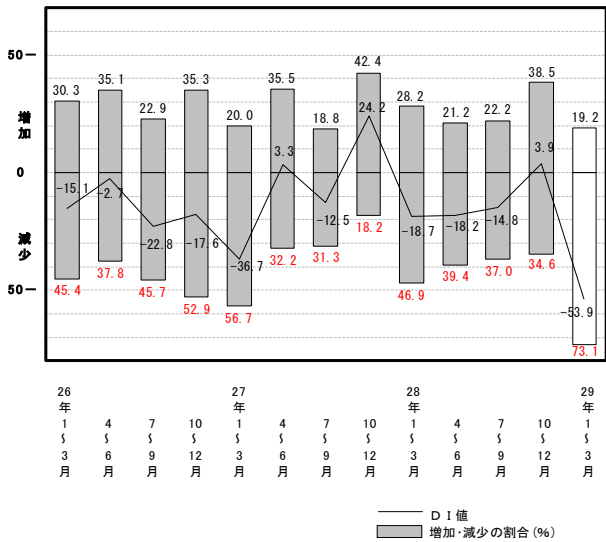
参考図 販売高D I 値の推移（建設・土木業 前期比）



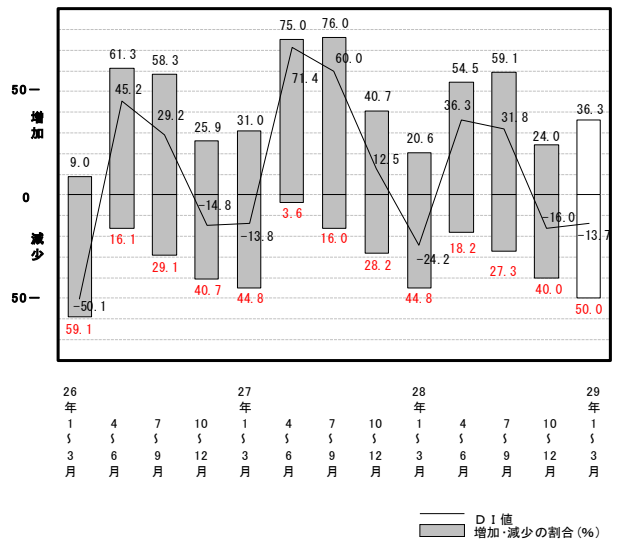
参考図 販売高D I 値の推移（飲食業 前期比）



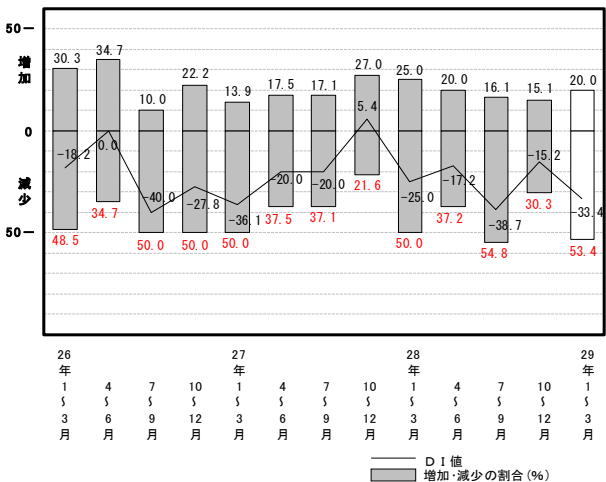
参考図 販売高D I 値の推移（製造業 前期比）



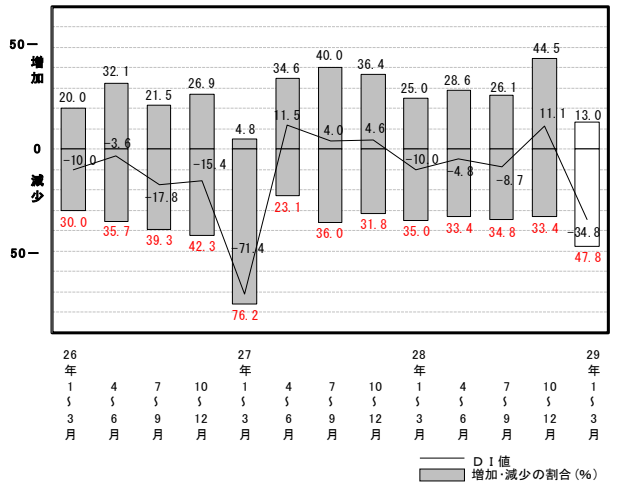
参考図 販売高D I 値の推移（旅館業 前期比）



参考図 販売高D I 値の推移（卸売・小売業 前期比）



参考図 販売高D I 値の推移（その他 前期比）



## 2. 景気の動向（自社の景気）

### 景気動向のD I 値は下降、来期見込は上昇傾向

自社の景気動向について今期のD I 値をみると、産業全体としては▲23.6となり前回（▲16.6）より7.0ポイント減少した。（第3図 参照）

前回調査時における来期見込のD I 値は▲27.1（10.5ポイント減少見込）であったことを踏まえると、今期は前回調査時に予測していたよりも、景気が回復傾向にあったと考えられる。

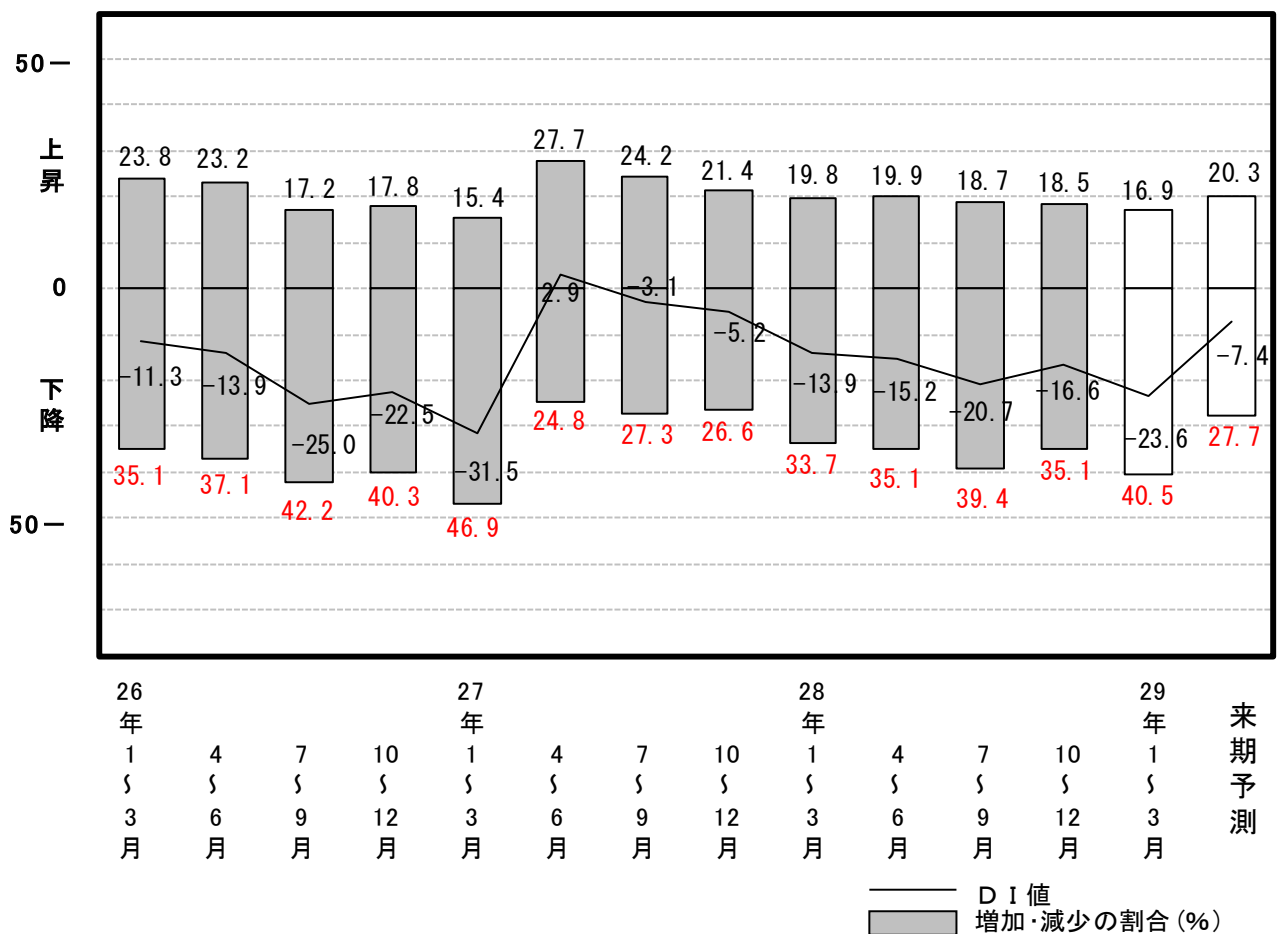
また、来期見込（今期比）のD I 値は▲7.4で今期値より16.2ポイント増加すると予測しており、今期より回復する見込みであると考えている事業所の割合が多い。

業種別のD I 値を分析すると、今期は「建設・土木業」「飲食業」「旅館業」において増加しているが、それ以外の業種においては減少している。

また、来期予測に関しては、「建設・土木業」のみが同値と予測しているが、それ以外の業種においては上昇すると予測している。

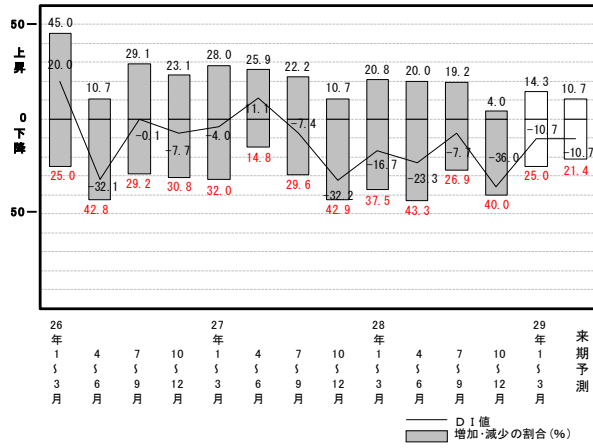
（参考図 景気D I 値の推移（各業種） 参照）

第3図 景気D I 値の推移（全体）

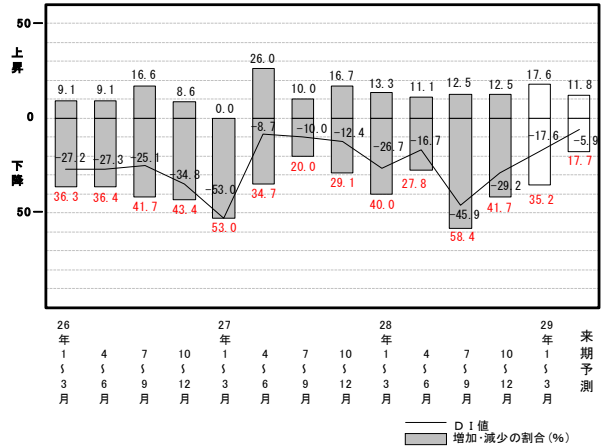




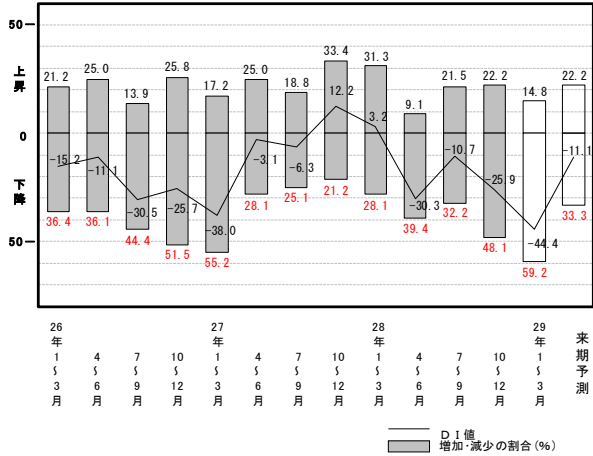
参考図 景気DI値の推移（建設・土木業）



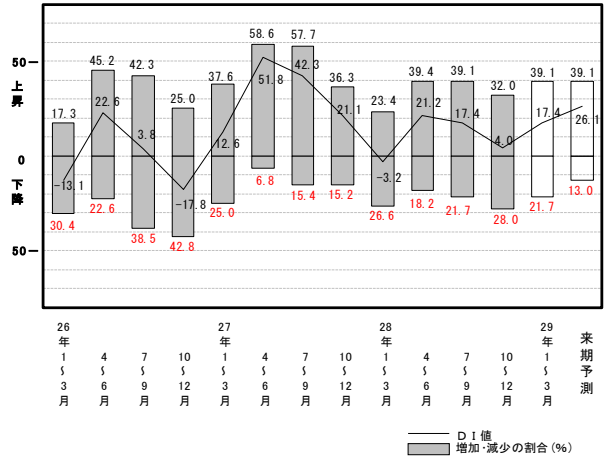
参考図 景気DI値の推移（飲食業）



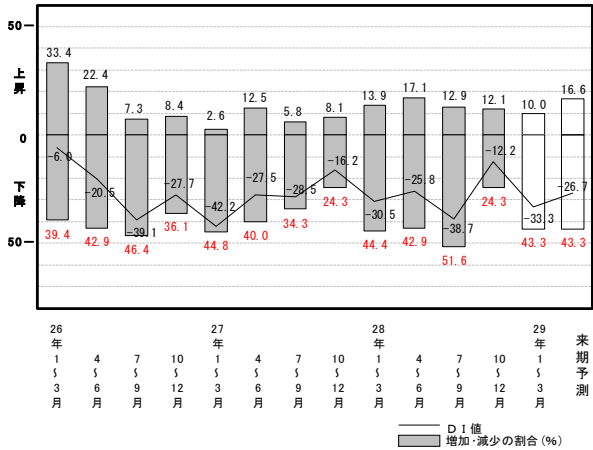
参考図 景気DI値の推移（製造業）



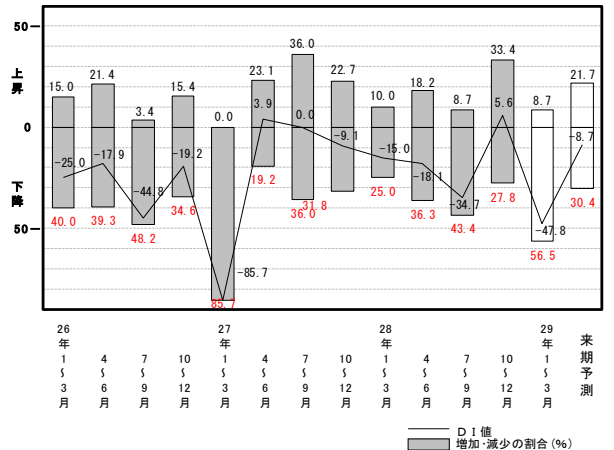
参考図 景気DI値の推移（旅館業）



参考図 景気DI値の推移（卸売・小売業）



参考図 景気DI値の推移（その他）



### 3. 雇用の状況

#### 雇用状況は「過剰感」は減少、「不足感」は増加

今期において、雇用している人員が「過剰である」「やや過剰である」と回答した事業所の割合は5.5%で、前回(10.1%)より4.6ポイント減少した。

また、「不足している」「やや不足している」と回答した事業所の割合は38.4%で前回(32.4%)より6.0ポイント増加した。

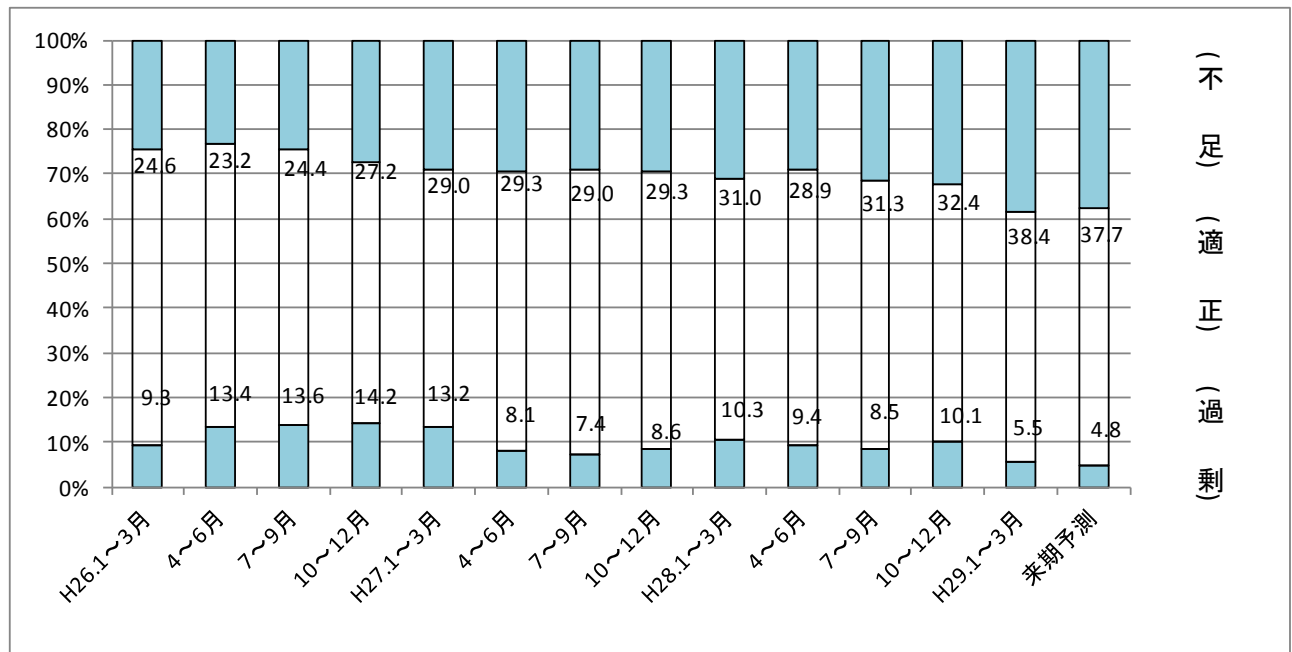
来期予測に関しては、「過剰」が4.8%で今期より0.7ポイント減少し、「不足」が37.7%で今期より0.7ポイント減少している。(第4図 参照)

業種別の数値を分析すると、今期は「製造業」のみ「過剰」と回答している事業所の割合が増加し、「飲食業」のみ「不足」と回答している事業所の割合が減少している。特に「旅館業」においては、「不足」と回答している事業所の割合が70%を超え人手不足が深刻化している。

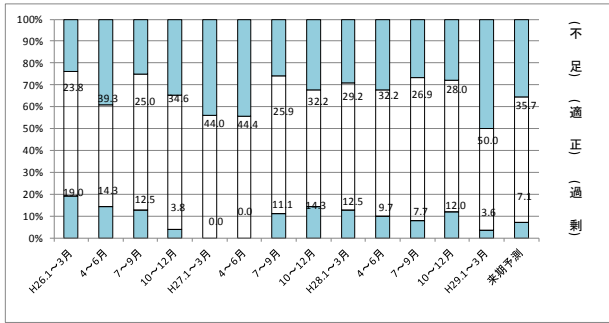
来期予測に関しては、「卸売・小売業」の業種のみ「過剰」と予測する事業所の割合が減少し、「製造業」「卸売・小売業」「飲食業」「旅館業」の業種において、「不足」と予測する事業所の割合が増加している。

(参考図 雇用の状況の推移(各業種) 参照)

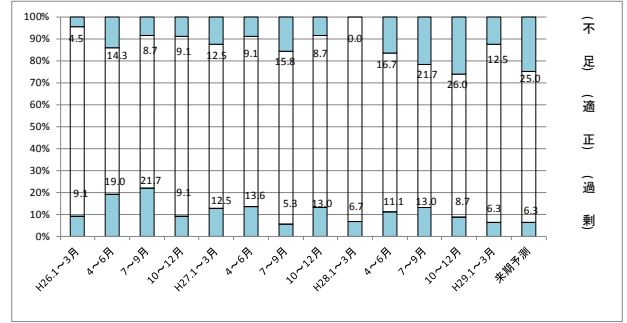
第4図 雇用の状況の推移(全体)



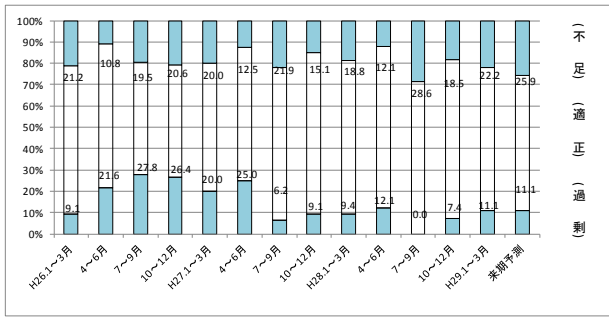
参考図 雇用の状況の推移（建設・土木業）



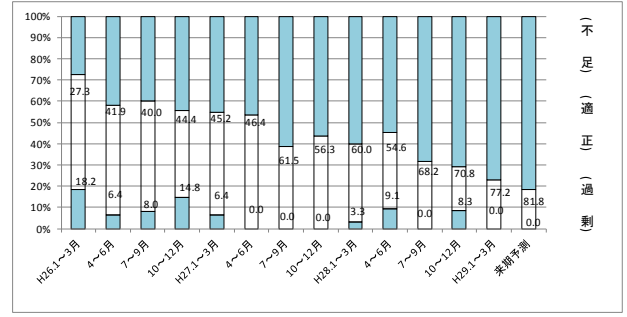
参考図 雇用の状況の推移（飲食業）



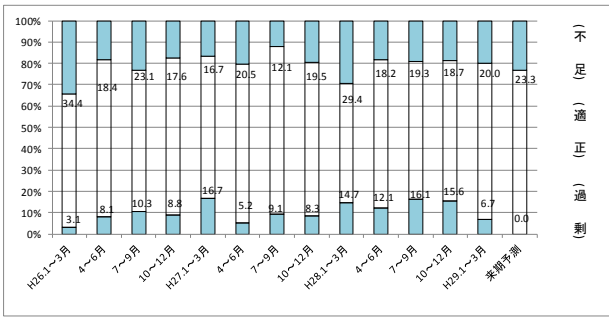
参考図 雇用の状況の推移（製造業）



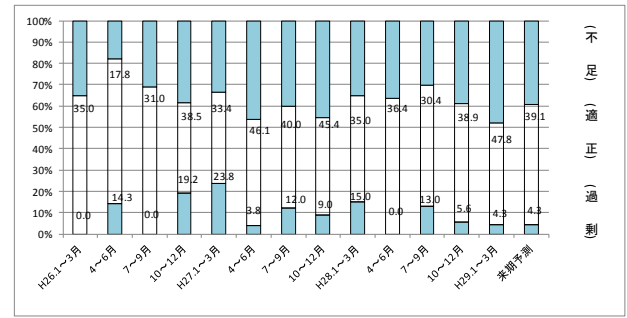
参考図 雇用の状況の推移（旅館業）



参考図 雇用の状況の推移（卸売・小売業）



参考図 雇用の状況の推移（その他）



#### 4. 設備投資

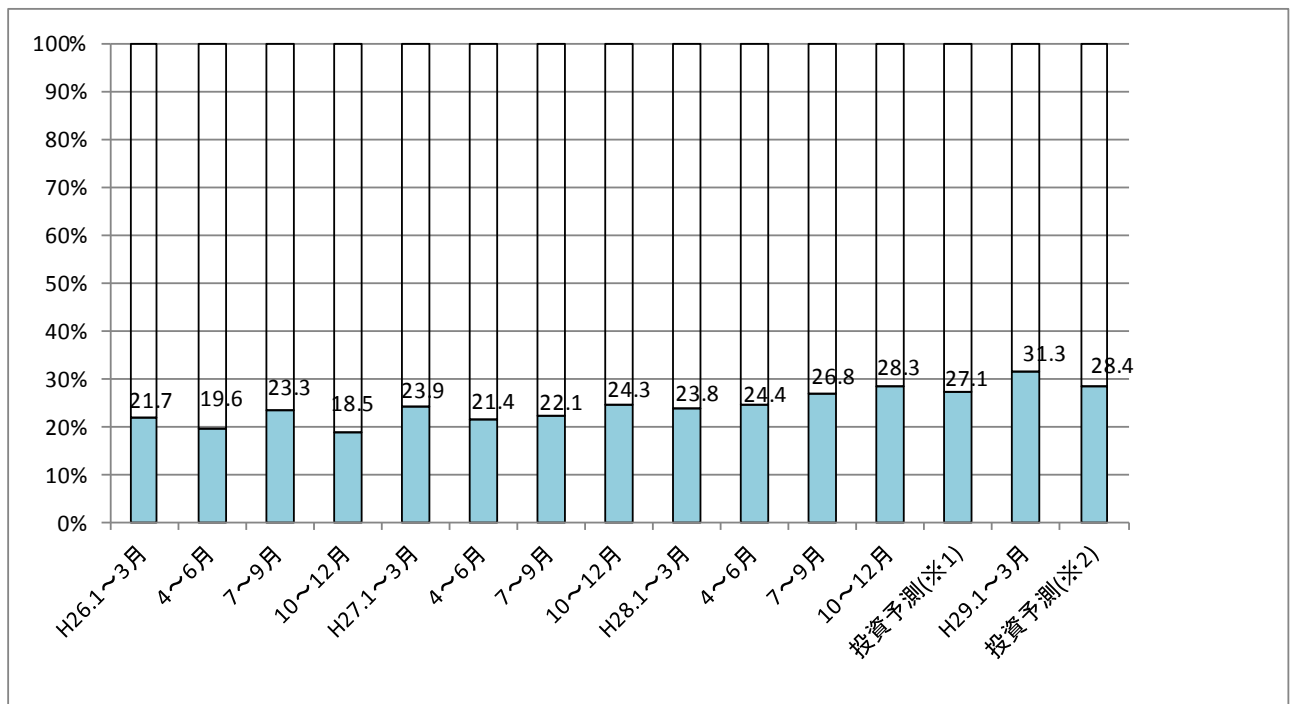
設備投資を行った事業所は増加、  
来期以降の設備投資計画も増加傾向

今期「設備投資をした」と回答した事業所の割合は31.3%で、前回（28.3%）より3.0ポイント増加した。（第5図 参照）また、向こう1年間の計画については、「設備投資を計画している」と回答した事業所の割合は28.4%となっており、前回調査時の予測値（27.1%）より1.3ポイント増加した。

業種別にみると、「製造業」「卸売・小売業」において、今期の設備投資実績が前回調査の予測値を下回っており、それ以外の業種は前回調査の予測値を上回っている。また、向こう1年の投資計画は、「建設・土木業」「製造業」「卸売・小売業」において前回調査の予測値を下回っている。

（参考図 設備投資の推移（各業種） 参照）

第5図 設備投資の推移（全体）



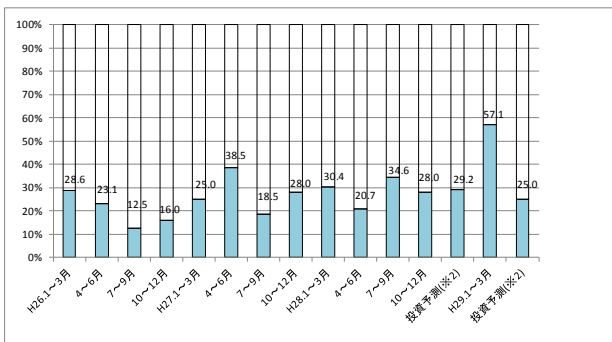
投資予測※1

前回調査（10～12月期）における向こう1年間の投資計画

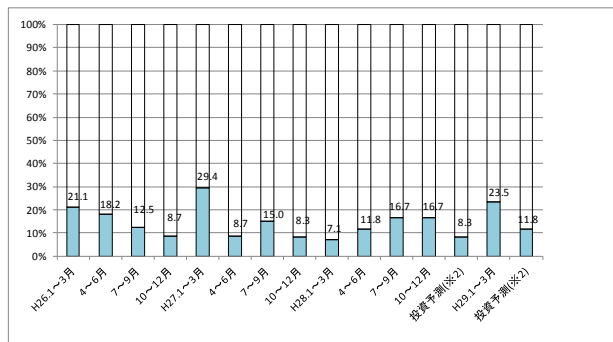
投資予測※2

今回調査（1～3月期）における向こう1年間の投資計画

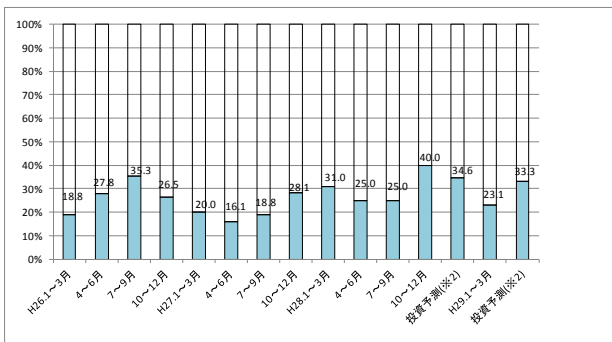
参考図 設備投資の推移(建設・土木業)



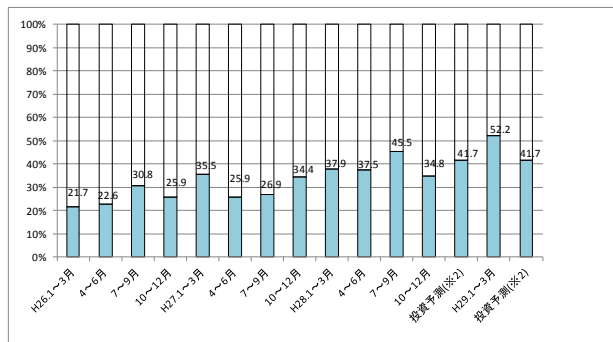
参考図 設備投資の推移(飲食業)



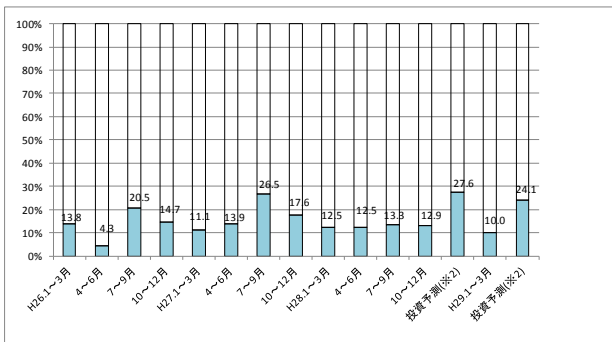
参考図 設備投資の推移(製造業)



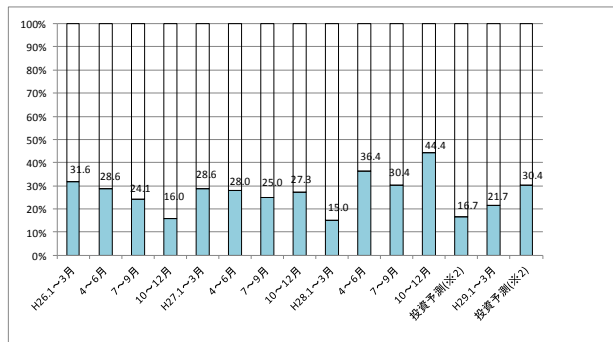
参考図 設備投資の推移(旅館業)



参考図 設備投資の推移(卸売・小売業)



参考図 設備投資の推移(その他)



景気動向調査結果業種別集計表

平成29年 1月～3月期

(単位：%)

項目	比較区分	状況	産業全体	建設土木	製造	卸・小売	飲食	旅館	その他
販売高	(今期)	10%以上増加	4.7	3.6	7.4	0.0	0.0	17.4	0.0
	前年同期と比べて	3%以上10%未満増加	20.3	32.1	18.5	12.9	18.8	26.1	13.0
横ばい		32.5	32.2	26.0	38.7	43.7	21.7	34.9	
3%以上10%未満減少		29.7	21.4	18.5	38.7	25.0	34.8	39.1	
10%以上減少		12.8	10.7	29.6	9.7	12.5	0.0	13.0	
出荷額	(今期)	10%以上増加	4.1	7.1	3.8	0.0	0.0	13.6	0.0
	前期と比べて	3%以上10%未満増加	17.9	25.0	15.4	20.0	6.3	22.7	13.0
横ばい		27.6	35.7	7.7	26.6	49.9	13.7	39.2	
3%以上10%未満減少		28.3	14.3	30.8	36.7	25.0	36.4	26.1	
10%以上減少		22.1	17.9	42.3	16.7	18.8	13.6	21.7	
景気の動向	(今期)	上昇した	1.4	0.0	3.7	0.0	0.0	4.3	0.0
	前期と比べて	やや上昇した	15.5	14.3	11.1	10.0	17.6	34.8	8.7
横ばい		42.6	60.7	26.0	46.7	47.2	39.2	34.8	
やや下降した		27.0	10.7	33.3	33.3	17.6	17.4	47.8	
下降した		13.5	14.3	25.9	10.0	17.6	4.3	8.7	
自社の景気	(来期見込)	上昇する	5.4	7.1	3.7	3.3	0.0	8.7	8.7
	今期と比べて	やや上昇する	14.9	3.6	18.5	13.3	11.8	30.4	13.0
横ばい		52.0	67.9	44.5	40.1	70.5	47.9	47.9	
やや下降する		20.3	10.7	22.2	33.3	11.8	13.0	26.1	
下降する		7.4	10.7	11.1	10.0	5.9	0.0	4.3	
雇用人員	(今期)	過剰である	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	今期水準	やや過剰である	5.5	3.6	11.1	6.7	6.3	0.0	4.3
適正である		56.1	46.4	66.7	73.3	81.2	22.8	47.9	
やや不足している		29.5	46.4	18.5	13.3	12.5	54.5	30.4	
不足している		8.9	3.6	3.7	6.7	0.0	22.7	17.4	
	(来期予想)	過剰となる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	来期水準	やや過剰となる	4.8	7.1	11.1	0.0	6.3	0.0	4.3
適正である		57.5	57.2	63.0	76.7	68.7	18.2	56.6	
やや不足する		31.5	35.7	22.2	20.0	25.0	59.1	30.4	
不足する		6.2	0.0	3.7	3.3	0.0	22.7	8.7	
設備投資	(今期)	設備投資した	31.3	57.1	23.1	10.0	23.5	52.2	21.7
	今期実績	設備投資していない	68.7	42.9	76.9	90.0	76.5	47.8	78.3
	(来期以降)	〃を計画している	28.4	25.0	33.3	24.1	11.8	41.7	30.4
	計画(向こう1年)	〃を計画していない	71.6	75.0	66.7	75.9	88.2	58.3	69.6
資金繰り	(今期)	楽になった	5.3	3.6	7.4	3.2	0.0	12.5	4.3
	前年同期と比べて	やや楽になった	10.0	21.4	0.0	6.5	17.6	4.2	13.0
横ばい		64.0	64.3	59.3	64.5	64.7	66.6	65.3	
やや苦しくなった		14.7	7.1	18.5	16.1	11.8	16.7	17.4	
苦しくなった		6.0	3.6	14.8	9.7	5.9	0.0	0.0	
	(今期)	楽になった	3.3	0.0	3.7	3.2	0.0	8.3	4.3
	前期と比べて	やや楽になった	9.3	14.3	3.7	6.5	11.8	4.2	17.4
横ばい		64.0	75.0	51.9	64.5	70.5	70.8	52.2	
やや苦しくなった		16.7	7.1	22.2	16.1	11.8	16.7	26.1	
苦しくなった		6.7	3.6	18.5	9.7	5.9	0.0	0.0	
原材料購入	(今期)	上昇した	2.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5
	前年同期と比べて	やや上昇した	47.7	32.1	55.6	38.7	64.7	66.7	36.4
横ばい		48.3	57.2	44.4	58.1	35.3	29.1	59.1	
やや低下した		2.0	3.6	0.0	3.2	0.0	4.2	0.0	
低下した		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
購入価格、仕入価格等	(今期)	上昇した	2.7	7.1	3.7	0.0	0.0	0.0	4.5
	前期と比べて	やや上昇した	45.0	35.7	44.4	38.7	52.9	66.7	36.4
横ばい		50.3	53.6	51.9	58.1	47.1	29.1	59.1	
やや低下した		2.0	3.6	0.0	3.2	0.0	4.2	0.0	
低下した		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

## 【参考資料】

### 工業指標

(単位:件,人,万円)

区 分	21年	22年	24年	25年	26年
事業所数 (指数)	232 (100)	222 (95)	210 (90)	201 (86)	195 (84)
従業者数 (指数)	5,321 (100)	5,347 (100)	5,439 (102)	5,504 (103)	5,267 (98)
製造品出荷額等 (指数)	10,585,570 (100)	10,355,962 (97)	11,898,399 (112)	12,042,054 (113)	12,374,170 (116)

(指数:平成21年=100)

工業統計

### 商業指標

(単位:店,人,万円)

区 分	26年
商店数	1,414
従業者数	7,820
商品販売額	20,705,901

商業統計

### 月別観光入込数(高山市全域)

(単位:人)

	観 光 入 込 数			
	29年	28年	27年	26年
1月	402,000	383,000	362,000	357,000
2月	285,000	288,000	267,000	249,000
3月	303,000	295,000	275,000	253,000
4月		460,000	413,000	404,000
5月		471,000	467,000	431,000
6月		227,000	217,000	214,000
7月		308,000	280,000	265,000
8月		502,000	479,000	438,000
9月		336,000	362,000	329,000
10月		572,000	571,000	490,000
11月		387,000	378,000	364,000
12月		282,000	270,000	231,000
累計	990,000	4,511,000	4,341,000	4,025,000

観光課資料

有効求人倍率(飛騨管内)

	有効求人倍率	
	29年	28年
1月	1.24	1.25
2月	1.32	1.30
3月	1.39	1.39
4月		1.38
5月		1.37
6月		1.41
7月		1.56
8月		1.61
9月		1.64
10月		1.57
11月		1.52
12月		1.32

高山公共職業安定所資料

月別観光入込数(高山地域)

(単位:人)

	観光入込数	
	29年	28年
1月	205,000	199,000
2月	190,000	194,000
3月	198,000	193,000
4月		453,000
5月		468,000
6月		177,000
7月		179,000
8月		316,000
9月		228,000
10月		559,000
11月		383,000
12月		263,000
累計	593,000	3,612,000

観光課資料